

平成22年度
商店街通行量調査
結果報告書



平成22年11月
熊本市・熊本商工会議所

はじめに

わが国の経済情勢は、一昨年秋のリーマン・ショックによる世界的な経済危機の影響を払拭できないまま、デフレや円高傾向等も重なって先行き不透明な状態が続いており、地域経済や中小企業も依然として厳しい状況に置かれています。

商店街を取り巻く環境も、長引く個人消費の低迷や、郊外型大型店・ネット販売等との競合による小売業全体の競争激化、商店街活動を担う人材の不足など、様々な課題を抱えています。

一方で、高齢化が加速し、地域における相互扶助機能の低下が進む昨今、商店街の果たす役割はますます大きくなっていると言えます。日常生活に必要な利便を提供するのみならず、住民の交流拠点・憩いの場としての機能や、地域行事の伝承など、コミュニティの核として地域社会を支える商店街の重要性があらためて見直されており、本市でも、商店街の活性化を図るための一層の取り組みが求められています。

本調査は、市内主要商業地の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に役立てることを目的に、昭和43年から実施しているものです。

本年度も、8月20日（金）・22日（日）に市内36地点において調査を実施し、その結果がまとまりましたのでここにご報告いたします。商業者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成22年11月

熊 本 市

熊本商工会議所

目 次

I. 調査の概要	2 P
II. 調査結果	
1. 調査結果の概要	6 P
(1) 調査日の天気	6 P
(2) 前回調査以降の主な動き	6 P
(3) 調査地点の名称変更	6 P
(4) 通行量の推移	7 P
(5) 通行量が増加した調査地点	8 P
(6) 通行量が減少した調査地点	9 P
(7) 通行量上位地点ランキング	10 P
(8) 地区別概要	11 P
2. 対前年比較増減表	17 P
3. 進行方向別通行人数	18 P
4. 過去の調査結果一覧（平日）	20 P
" （日曜）	22 P
" （合計）	24 P
5. 各調査地点の通行量の詳細	26 P